

(公財)精密測定技術振興財団品質工学賞 2017年度 贈賞式

平成29年6月23日(金)午後4時、タワーホール船堀 大ホールにて、(公財)精密測定技術振興財団品質工学賞「論文賞」「発表賞」の表彰式が、執り行われました。当財団の精密測定技術に関する表彰事業の一環として、実施いたしております。

当日は、理事長代理で関口常務理事・事務局長が出席し、授与いたしました。

この賞のうち論文賞は、前年度(2016年度)に品質工学会の学会誌に掲載された論文を対象として、その成果が優秀と認められるものに対し、品質工学の研究を激励し、技術の発展と社会の充実することを目的として贈呈されます。発表賞は、当該年度の大会発表を対象にして審査され、贈呈されます。

品質工学の本質は計測で、精密そのものであり、品質工学を発展させることが我が国のものづくりの発展に絶对的に必要であることを確信しております。

論文賞

金賞：ソフトウェア設計中の直行表による開発効率の効果と課題

銀賞1：バーチャル設計を用いたシャッタ機構の最適化

銀賞2：消臭不織布マスクの開発

銀賞3：肝疾患のMT法における識別精度向上に関する研究-割引係数法の利用-

発表賞

金賞：広島における殻付カキの生産工程の創出

銀賞1：直彫り加工による大型超合金金型一貫製造技術の開発-工具開発と最適加工-

銀賞2：バーチャル設計を用いた、金型の形状合わせ技術の向上

銀賞3：光学レンズのプレス加工汎用性追求~マクロ視点による全体最適アプローチ~

